

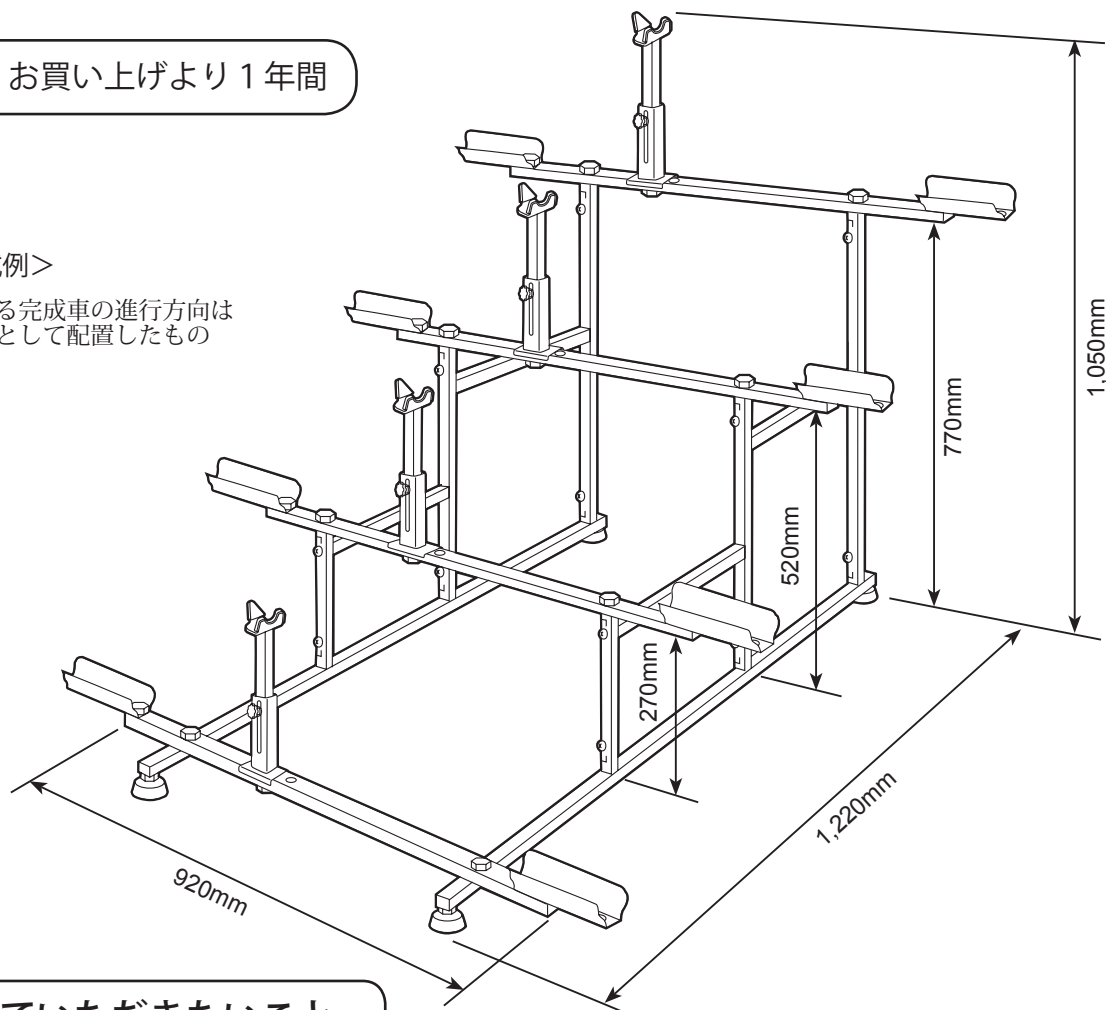
このたびはお買い上げまことにありがとうございます。

組み立て前にこの説明書をしっかりと読み、内容を十分に把握してから作業に取りかかってください。

保証期間： お買い上げより1年間

<完成例>

展示する完成車の進行方向は
右向きとして配置したもの



⚠ 注意していただきたいこと

- 通常の2輪自転車専用です。3輪車やリカンベントなどの特殊車、また自転車以外のものは載せられません。
- 基本的に24インチ以上のサイズの一般型自転車にしか対応しておりません。ホイールベースの短いBMXや小径車、あるいはBBが極端に低い・高い・または太い自転車、BB背後に保持用の爪が入らない一部のカーボンフレーム車や、BB付近に電動変速のバッテリーを搭載しているものなどは、搭載できない場合があります。
- 電動アシスト車は軽量なもののみ搭載できます。車重が30kgを超えるものは載せないでください。
- 自転車は両輪とBBの3点で支持されるだけです。最大限に安定を保つため、タイヤ受けの位置やBB受けの高さ調整は搭載する自転車ごとに個々に合わせてください。
- 横フレームの向きによって搭載する自転車の方向が決まっています。正しい向きで使用してください。
- 971-4に足をかけて登ったり、踏み台代わりに使用しないでください。
- 必ず水平で平坦な場所に設置してください。オプションの「キャスターキット」を装着している場合には特に注意し、勝手に動き出さないようにキャスターのロックを掛けてお使いください。
- 971-4を移動させる際は、必ず自転車を下ろしてから行なってください。
- 定期的に各部の増し締めを行なってください。組み立て・調整にはサイズの合った正しい工具を使用してください。
- 組み立て前にすべての部品が揃っているか、正しいサイズであるかどうかを確認してください。

問い合わせ先

製造/発売元：株式会社 箕浦

〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮134-1

Tel: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505

Mail: infodesk@minoura.jp / Web: www.minoura.jp

組み立てのしかた

組み立てに必要な工具

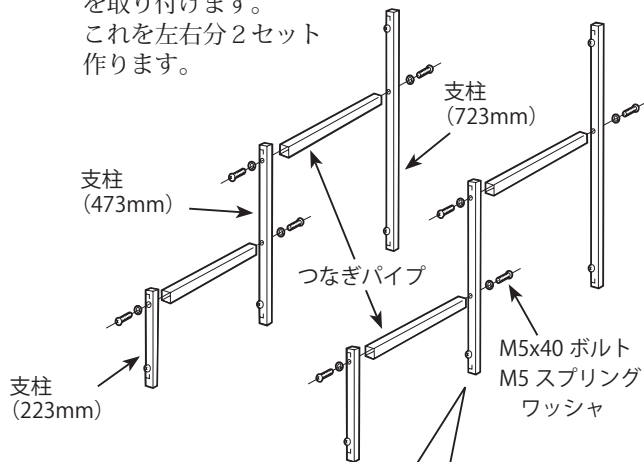
#2 プラスドライバ 1本、13mm スパナ (メガネレンチを推奨) 2本

1 まず最初に部品がすべて揃っていることを確認してください。

<部品明細>

台	... 2本、丸頭ボルト M5x40	... 8ヶ
横フレーム	... 4本、六角ボルト M8x30	... 4ヶ
支柱 (223mm)	... 2本、六角ボルト M8x35	... 8ヶ
支柱 (473mm)	... 2本、六角ボルト M8x45	... 12ヶ
支柱 (723mm)	... 2本、六角ボルト M8x60	... 2ヶ
つなぎパイプ	... 4本、パイプスペーサ (短)	... 20ヶ
ハンガー受け	... 4ヶ、パイプスペーサ (長)	... 8ヶ
タイヤ受け	... 8ヶ、M5 スプリングワッシャ	... 8ヶ
ゴムアジャスタ	... 4ヶ、M8 スプリングワッシャ	... 28ヶ
	M8 平ワッシャ	... 28ヶ
	M8 ナット	... 10ヶ

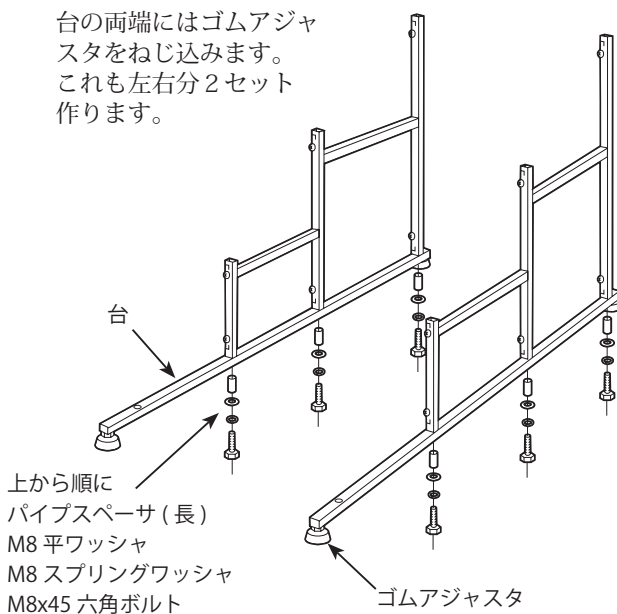
2 まず支柱 (723mm) の孔につなぎパイプを取り付けます。さらに反対側に支柱 (473mm) を取り付けます。続いて支柱 (473mm) につなぎパイプと支柱 (223mm) を取り付けます。これを左右分2セット作ります。



! 支柱 (473mm) と支柱 (723mm) のそれぞれの孔位置に注意のこと。間違えると3本の支柱の下端が揃わなくなってしまいます。

3 手順2で組み立てた支柱ユニットを台に取り付けます。台は大きい孔のあいている方が下になります。

台の両端にはゴムアジャスタをねじ込みます。これも左右分2セット作ります。

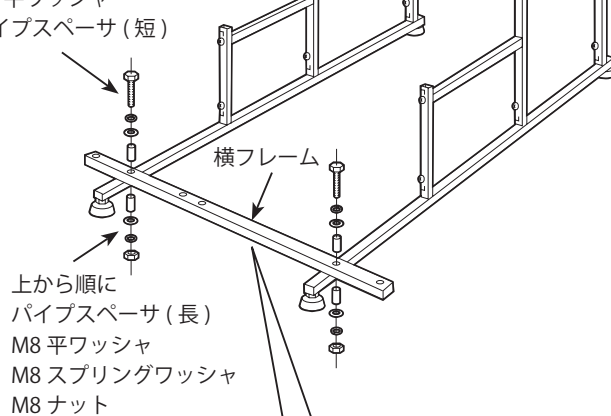


! 床を保護するため、付属の透明シールをゴムアジャスタの底に貼ってください。

4 左右の支柱ユニットを横フレームでつなぎます。

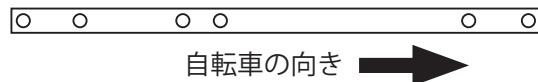
1段目だけは上下それぞれから部品を通していかなければなりません。

上から順に
M8x60 六角ボルト
M8 スプリングワッシャ
M8 平ワッシャ
パイプスペーサ (短)



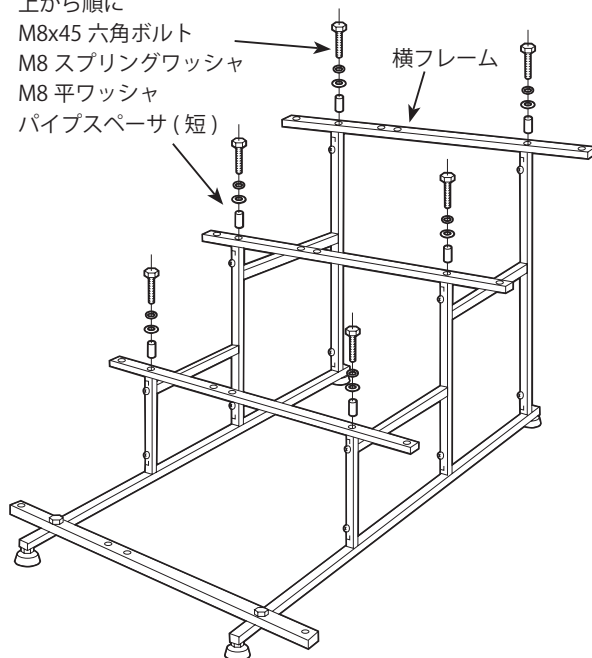
上から順に
パイプスペーサ (長)
M8 平ワッシャ
M8 スプリングワッシャ
M8 ナット

! 横フレームの向きに注意してください。ハンガー受けを取り付ける2つの孔が中央より左側にあるとき (上図の状態) は、自転車の進行方向は右向きになります。自転車を左向きにしたい場合は横フレームを左右逆に取り付け直さなければなりません。



5 続いて2・3・4段目に横フレームを取り付けます。搭載する自転車の向きを揃えるのなら、横フレームの向きは3段とも同じ向きに揃えてください。

上から順に
M8x45 六角ボルト
M8 スプリングワッシャ
M8 平ワッシャ
パイプスペーサ (短)



6

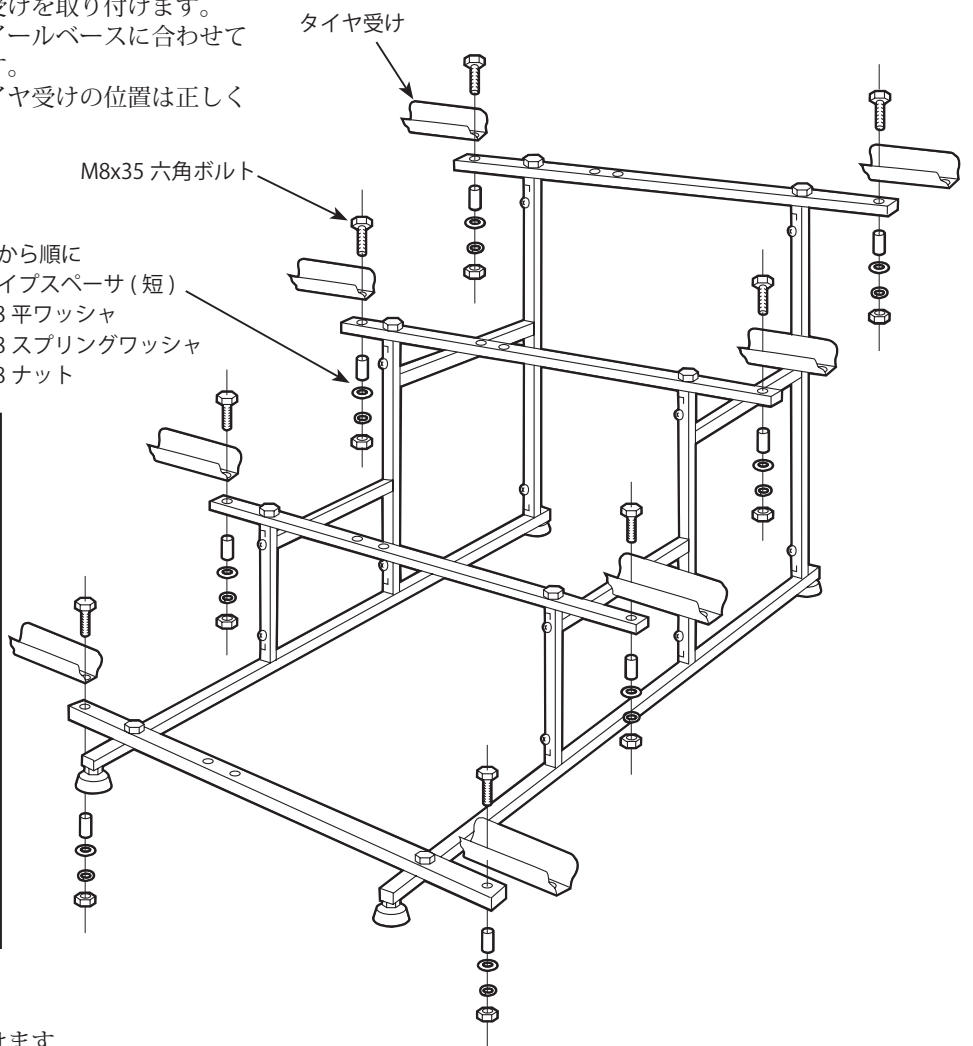
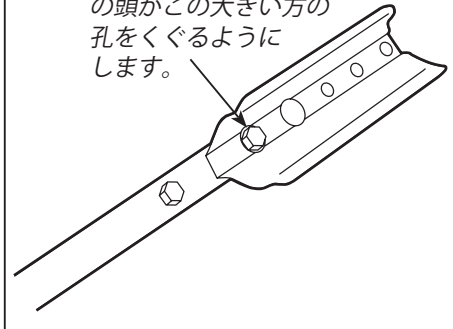
横フレームそれぞれの両端にタイヤ受けを取り付けます。タイヤ受けは、搭載する自転車のホイールベースに合わせて5段階に位置を変えることができます。安定した展示を行なうためにも、タイヤ受けの位置は正しく選んでください。

M8x35 六角ボルト

上から順に
パイプスペーサ (短)
M8 平ワッシャ
M8 スプリングワッシャ
M8 ナット



短いホイールベースに合わせるためタイヤ受けを内側寄りに取り付けるには、タイヤ受けの向きに気をつけます。大きい方の孔を内側に向けて、横フレームを止めているボルトの頭がこの大きい方の孔をくぐるようにします。



7

横フレームにハンガー受けを取り付けます。ハンガー受けを取り付ける孔は2ヶ所あり、中央寄りのものが短いホイールベースの自転車用、左側が通常の自転車用になります。

ハンガー受けは、三角形の爪部分がBB 背後のチェーンステーの間に、U字部分がBB 直前のダウンチューブを支えるような位置に来ます。



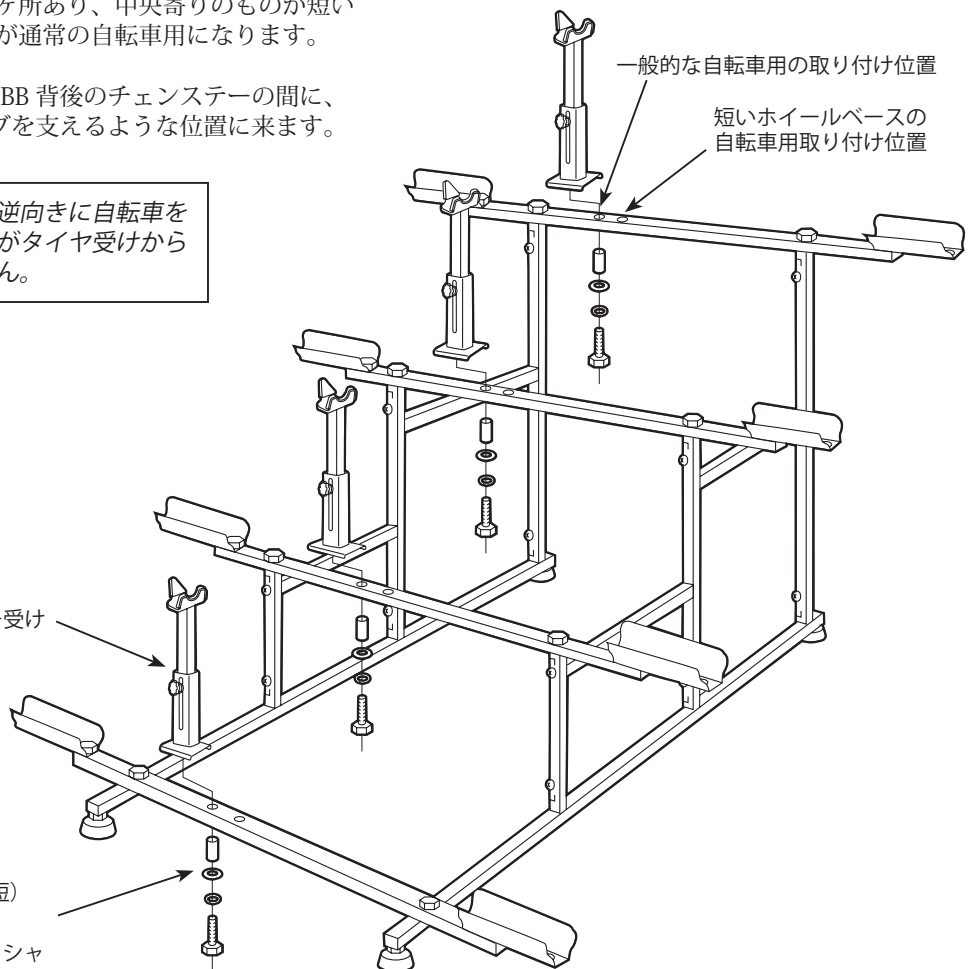
横フレームで指定した向きと逆向きに自転車を搭載しようとする、タイヤがタイヤ受けからはみ出てしまい搭載できません。

一般的な自転車用の取り付け位置

短いホイールベースの自転車用取り付け位置

ハンガー受け

上から順に
パイプスペーサ (短)
M8 平ワッシャ
M8 スプリングワッシャ
M8x30 六角ボルト



自転車の搭載のしかた

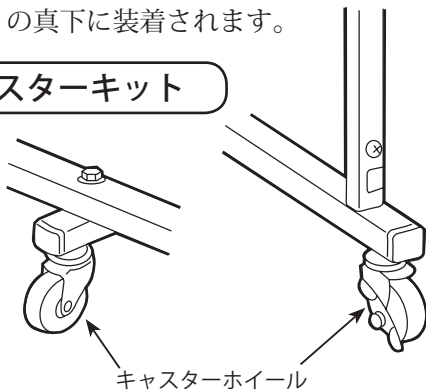
- 1** 横フレームを組み付けたときに決めた向きに合わせて自転車を準備します。
- 2** まず前後輪ともタイヤ受けの上に乗せます。
- 3** 片手で自転車を支えたまま前後に位置を微調整してから、もう一方の手でハンガー受けのノブを緩め、そのままBBにしっかりと当たるまで持ち上げます。
- 4** ハンガー受けのU字部分がBBとダウンチューブとの接合部を受け、また三角形の爪部分がBB背後のチェーンステール集合部の隙間に差し込まれ、左右に自転車を動かしてもぐらつかない位置まで持ち上げたところで、ノブを締め込んで固定します。
- 5** 最後に、971-4上の自転車を軽く左右に揺さぶってみて、しっかりと保持されていることを確認してから離れてください。

オプション品について

971-4のゴムアジャスタをキャスターホイールに交換することで、自転車を搭載したまま簡単に移動させることができるようになります。

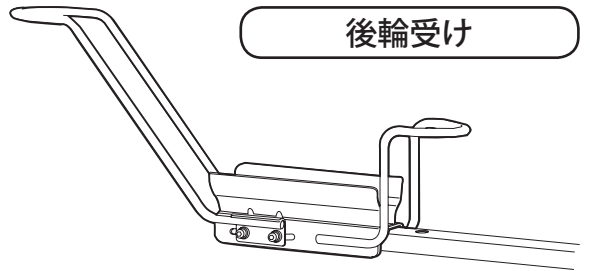
キャスターキットには、移動の際の全体のフレームの歪みや変形を抑えるための追加補強フレームや補強バーが同梱されています。追加補強フレームは支柱(223mm)の真下に装着されます。

キャスターキット



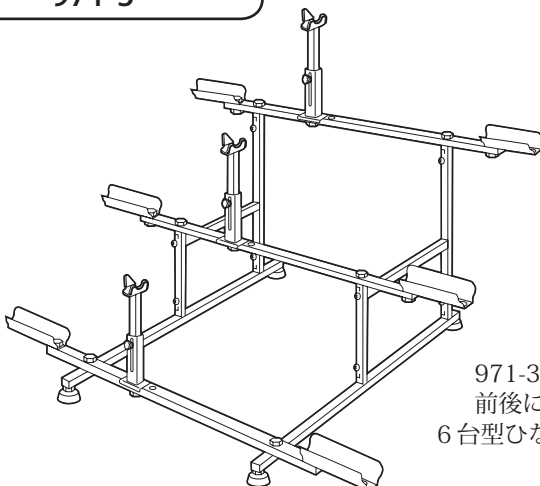
カーボンモノコックフレームや電動変速装置装着車など971標準のBB受けが使用できない形状の場合に、代わりに後輪全体を前後で受けて支えることで搭載することができる機構です。タイヤ受けと横フレームとの間に装着します。

後輪受け

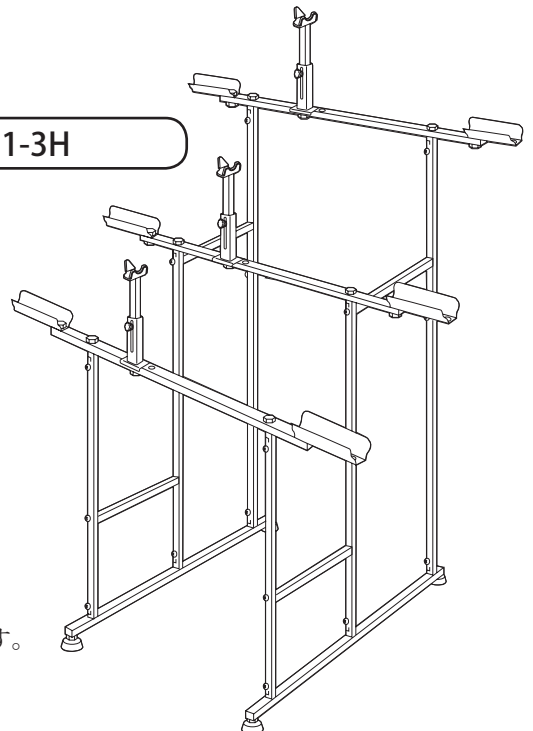


モデルバリエーションについて

971-3



971-3H



971-3と971-3Hを前後に並べることで6台型ひな壇にもできます。